

平成22年1月26日

各 位

東京都港区西新橋一丁目6番21号  
インヴァスト証券株式会社  
代表取締役社長 川路 猛  
(大証 ヘラクレス コード:8709)

問合せ先:総合企画部長 大村 祐一郎  
(TEL 03-3595-4133)

## 第3四半期業績予想の修正および特別損益の計上に関するお知らせ

平成21年10月28日付「平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)」において発表しております平成22年3月期の第3四半期業績予想(平成21年10月1日～平成21年12月31日)について、業績の見込みに差異が生じ、また、特別利益および特別損失が発生する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成22年3月期第3四半期業績予想数値および業績見込み数値(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

【非連結】

(単位:百万円, %)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期) 純利益
前回発表第3四半期予想(A)	847	△124	△124	△131
第3四半期業績見込み(B)	761	△118	△120	△184
増 減 額 (B-A)	△85	5	3	△53
増 減 率 (%)	△10.0%	—	—	—
(ご参考) 前年実績 平成21年3月期第3四半期	1,304	△191	△171	△173

当社の業績は、市場の環境の変動により大きく影響を受ける傾向があるため、四半期ごとに、翌四半期の業績予想を行っております。

《ご参考》

平成22年3月期第3四半期累計期間業績見込み数値(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

【非連結】

(単位:百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期 (当期) 純利益	1株当たり 四半期 純利益(円)
前回発表第3四半期累計期間予想	3,162	△74	△75	△231	—
第3四半期累計期間業績見込み	3,077	△68	△71	△285	—

(注) 上記の各数値については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。数値には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性がございます。

## 2. 修正（差異）の理由

当社は当第3四半期において、ばんせい山丸証券株式会社の店頭FX部門を吸収分割の方法により承継する一方、取引所FX「くりっく365」の取引システムを全面刷新するとともに、割引手数料を適用するキャンペーンを実施いたしました。これにより、口座数、預かり証拠金残高ともに順調に増加したものの、営業収益は761百万円と、前回予想に比べ10.0%減少となりました。一方、販売費・一般管理費については、新取引システムへのデータ移行費用等一時的な経費が増加したものの、経常的な費用の削減に努めた結果、営業利益は△118百万円(当第3四半期累計期間△68百万円)、経常利益は、△120百万円(同△71百万円)となりました。

これに、以下の「3. 特別利益および特別損失の計上」に記載の特別利益および特別損失を加味した四半期（当期）純利益は、△184百万円(当第3四半期累計期間△285百万円)となる見通しとなりました。

## 3. 特別利益および特別損失の計上

平成22年3月期第3四半期において、保守契約等違約損失戻入益等の特別利益15百万円、本店フロアの一部について賃貸借契約解除することに伴う処分予定資産の減損損失等の特別損失77百万円を計上する見込みです。

## 4. 今後の見通し

当社は、平成22年1月15日開催の取締役会において、オンラインによる商品先物取引に係る事業（以下、「商品先物事業」といいます。）について、吸収分割の方法により、ドットコモディティ株式会社（以下「ドットコモディティ」といいます。）に承継させること（以下、「本分割」といいます。）について基本合意書を締結することを決定いたしました。本分割は、平成22年2月上旬の吸収分割契約締結、同年3月下旬を目途とする効力発生を予定しております。

上記決定にあたっては、採算性の低い事業から今後も成長が見込まれる事業に経営資源をシフトすることが必要との認識のもと、事業ごとの収益性・成長性を検討した結果、国内商品先物取引受託業からの撤退し、「CFD（差金決済取引）」でコモディティを取り扱うことが、当社の収益基盤の安定ならびに将来的な企業価値の向上に資すると判断いたしました。

業績に与える影響としましては、本店フロアの一部賃貸借契約解除および本分割による商品先物事業の承継等により、不動産費用、システム保守費用、減価償却費等の費用削減効果を予定しております。その一方、現在、ドットコモディティと当社の間で、本分割による承継資産、負債等の詳細について協議を行っており、その結果によって事業撤退に伴う費用および一部固定資産の除却等の特別損失が発生する見込みですが、平成22年3月期第3四半期累計期間業績予想数値および業績見込み数値には含まれておりません。

以上を踏まえた業績に与える影響については、吸収分割契約締結後、明確になり次第発表いたします。

なお、本分割に係る基本合意の詳細については、平成22年1月15日付「当社のオンライン商品先物取引に係る事業の会社分割に関する基本合意のお知らせ」をご参照ください。

(注) 上記の数値については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。

数値には、様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性があります。

以上